

重要な情報資産の取り扱い ～ 情報資産の洗い出し ～

経営者・管理者向けコース — No.3

導入



会社や組織には、さまざまな情報が蓄えられています。その中には**情報資産**と呼ばれるものも少なくありません。

用語解説

●情報資産

情報セキュリティ上の脅威から守るべき資産。個人や組織には、さまざまな情報資産が蓄えられていて、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、データ、ノウハウなどさまざまな形態をとる。ITの普及に伴い、情報資産の価値は高まっている。

【出典】

情報セキュリティ読本 I T時代の危機管理入門（六訂版）

著作：独立行政法人情報処理推進機構

発行：実教出版株式会社

導入



資産には財産価値の優劣がある様に、情報資産にも会社や組織において価値がある情報と、あまり価値が高くない情報があります。もし、資産価値のある情報資産が盗まれたり失ったり、あるいはインターネット上に漏洩(ろうえい)したりしてしまったら、会社や組織はどうなってしまうでしょうか。

導入

もしかしたら、会社や組織自体が立ち行かなくなるかも知れません。そうなる前に、価値のある情報資産を見極めて、適切に取り扱うことが大事になります。

事例

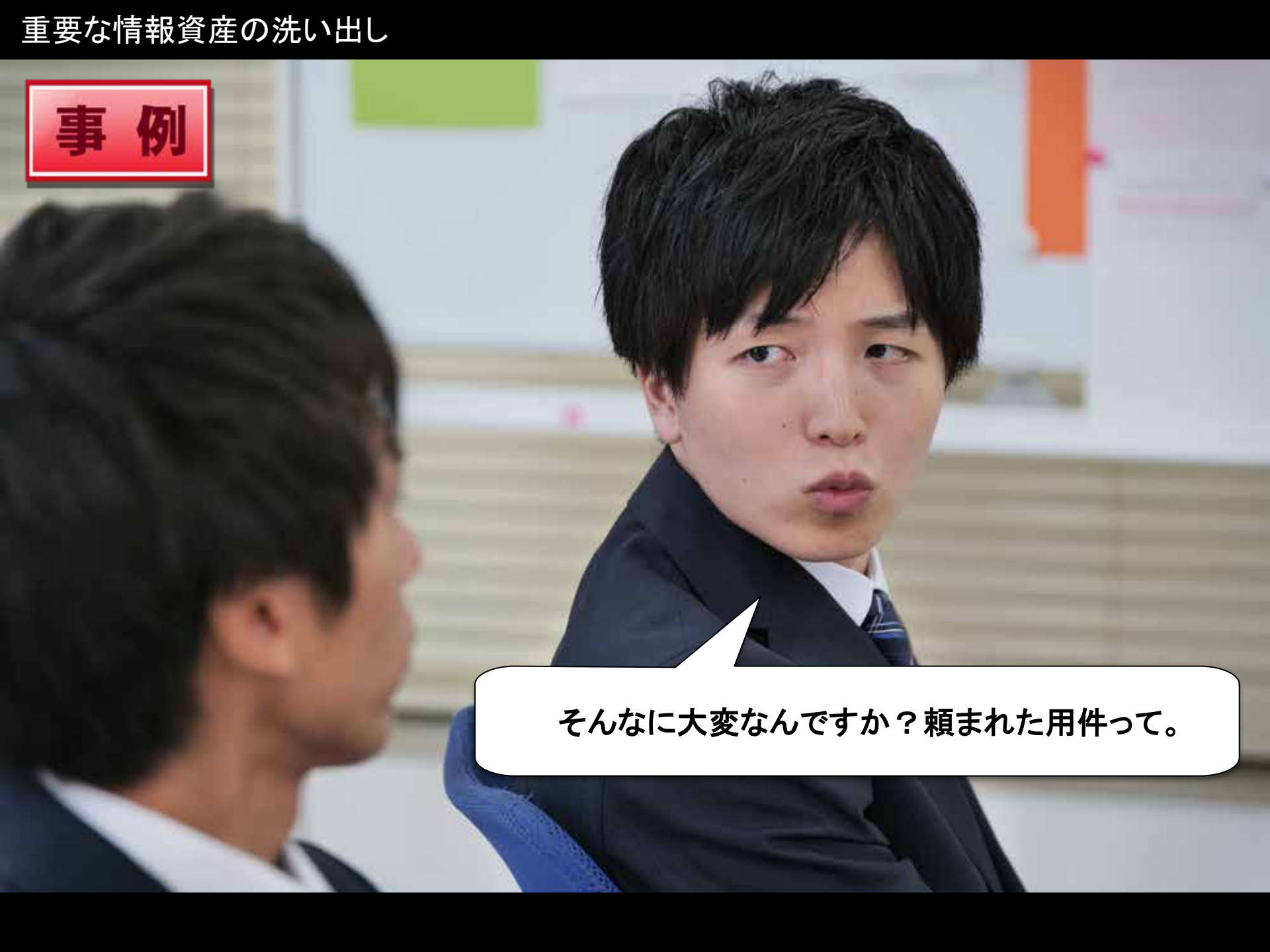
うーん、情報セキュリティに詳しいからと言われて、まさかわが社の情報資産の洗い出しをする羽目になるとは…。

事例

田端さん、どうしました？浮かない顔して。
例の社長に頼まれた要件ですか？

そうなんだよ、簡単には行かないかなと。

事例

A man with dark, wavy hair, wearing a dark suit, white shirt, and a blue and white striped tie, is looking towards the left with a surprised expression. He is sitting in a blue office chair. In the foreground, the back of another man's head and shoulders are visible, also wearing a suit. The background is a blurred office setting with a whiteboard and some papers.

そんなに大変なんですか？頼まれた用件って。

事例

まあね、なにせわが社の情報資産を洗い出していく作業だからね。
パソコンだけでも何台あるかと思うとな・・・。

事例

情報資産？情報資産て何ですか？

おいおいそこからか(笑)、
情報資産とはまあ会社の財産の一つだが、
情報セキュリティ上の脅威から守るべき資産のことさ。
個人情報や会計情報、取引先との技術情報などが該当するな。
電子データだけではなく、CDやメモリ、紙媒体での情報も含まれるね。

事例

ふーん、そうなんですね。
じゃあひょっとして情報セキュリティ上の脅威って、
ウイルスとか不正アクセスとかになるんですか？



事例

ちょっと違うな。
ここで言う脅威は、情報漏洩(ろうえい)やデータの改ざん、
盗難とか破壊とかのことになるんだ。

ウイルスや不正アクセスは、
そうした脅威の元に該当するな…
空き巣や自然災害とかもね。

そうなんですね。

事例

じゃあ、部署毎、業務毎で利用している情報から洗い出してみるかな。



事例

田端くん、情報資産の洗い出しの方、よろしく頼むよ。

事例

社長！
はい、少しずつですが進めてまいります。

あ！社長、後ほど社長室にもお邪魔させていただきますから。
あと、大事な紙の書類やCD、DVDはできるだけしまうべき場所に
しまっておいて下さいね、机の上ではなく。
資料の保管場所や使い方も、重要な判断材料ですから。

事例

わかったわかった、やっておくよ。

お願いしますね！



事例

社長、ああ見えても意外とそこかしいところがあるからなあ・・・
整理中に間違って大事な書類を捨てなければいいけど。

社長が脅威の元となるのは、ちょっと洒落になりませんね(笑)。

学習の意図

会社の大事な財産である**情報資産**ですが、電子データや紙媒体、CD、メモリなどの外部記憶媒体や、業務で使用しているパソコンやサーバー機器、スマートフォンなど、保管の形や場所はさまざまです。

用語解説

●情報資産

情報セキュリティ上の脅威から守るべき資産。個人や組織には、さまざまな情報資産が蓄えられていて、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、データ、ノウハウなどさまざまな形態をとる。ITの普及に伴い、情報資産の価値は高まっている。

【出典】

情報セキュリティ読本 IT時代の危機管理入門（六訂版）

著作：独立行政法人情報処理推進機構

発行：実教出版株式会社

学習の意図



また、情報資産の脅威についても、電子データであればウイルスや不正アクセスによる情報漏洩(ろうえい)やデータ改ざん、紙媒体であれば空き巣での盗難や社員による紛失、パソコンやサーバー機器であれば突然の故障や自然災害による破壊、など、同じくさまざまなことが考えられます。

学習の意図



これら全ての情報資産を脅威から守ると一括りに言っても難しいと言えます。そのため、どのような情報資産が、こういった場所に保管され、どのように使われているか、の洗い出しを行なうところから始めてみましょう。

学習の意図

「重要な情報資産の取り扱い」について、以下を学習しましょう。

1. 情報資産の保管場所や使い方を含めた洗い出しを行なう。

正しい対処法



具体的には、パソコンのハードディスクや机の引き出しを見るのではなく、日常どのような電子データや書類を利用して業務を行っているかを考えて洗い出しを行なうと、整理しやすくなります。

正しい対処法



守るべき**情報資産**が明確になりましたら、さらにそれらの情報資産の管理責任者を定めて、重要性のレベルに応じた表示や取り扱いの方法を定め、対策を決めて実施していくことが望ましいです。
なお、詳しい内容をお知りになりたい方は以下の参考をご参照下さい。

参考：中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン第3.1版
P.54 (8)詳細リスク分析の実施方法

用語解説

●情報資産

情報セキュリティ上の脅威から守るべき資産。個人や組織には、さまざまな情報資産が蓄えられていて、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、データ、ノウハウなどさまざまな形態をとる。ITの普及に伴い、情報資産の価値は高まっている。

【出典】

情報セキュリティ読本 IT時代の危機管理入門（六訂版）

著作：独立行政法人情報処理推進機構

発行：実教出版株式会社

確認テスト 問題

No.3 重要な情報資産の取り扱い ～情報資産の洗い出し～

Q1

情報資産の洗い出しについて、次のことが正しいかどうかを答えなさい。

『情報資産を情報セキュリティ上の脅威から守るため、保管場所や使い方が、情報資産の洗い出しの判断材料として重要になる。』

選択肢	
	1. 正しい
	2. 誤り

次のページで正解と
解説を確認しましょう

確認テスト 正解と解説

Q1

情報資産の洗い出しについて、次のことが正しいかどうかを答えなさい。

『情報資産を情報セキュリティ上の脅威から守るため、保管場所や使い方が、情報資産の洗い出しの判断材料として重要になる。』

正解	選択肢
●	1. 正しい
	2. 誤り

【解説】

情報資産を脅かす情報セキュリティ上の脅威はさまざまあり、守ると一括りに言っても難しいと言えます。そのため、どのような情報資産が、こういった場所に保管され、どのように使われているか、の洗い出しを行なうところから始めましょう。

確認テスト 問題

No.3 重要な情報資産の取り扱い ～情報資産の洗い出し～

Q2

情報資産に対するリスクは、脅威と脆弱性(ぜいじゃくせい)を基に評価する。脅威に該当するものはどれか。

(出典:平成30年度秋期 ITパスポート試験 公開問題 問67)

選択肢

- | | |
|--|-------------------|
| | 1. 暗号化しない通信 |
| | 2. 機密文書の取扱方法の不統一 |
| | 3. 施錠できないドア |
| | 4. 落雷などによる予期しない停電 |

次のページで正解と
解説を確認しましょう

確認テスト 正解と解説

Q2

情報資産に対するリスクは、脅威と脆弱性(ぜいじゃくせい)を基に評価する。脅威に該当するものはどれか。

(出典:平成30年度秋期 ITパスポート試験 公開問題 問67)

正解	選択肢
	1. 暗号化しない通信
	2. 機密文書の取扱方法の不統一
	3. 施錠できないドア
●	4. 落雷などによる予期しない停電

【解説】

出典:平成30年度秋期 ITパスポート試験 公開問題 問67